

PMC (ピーエムシー)
本社所在国:イギリス



放送から映画制作や音楽制作のマスターリングに至るまで、PMCはプロフェッショナルスタジオモニタリングの中核を担っています。
PMC システムはTeldex スタジオ(独)やEmil Berliner スタジオ(独)の他、Deutsche Grammophon(独)、
DECCA(英)、Philips and Harmonia Mundi などのレーベルの、世界でも有数とされるクラシカルレコーディング環境を支える一方、
世界のTVや映画、音楽でも名を馳せるBBC、Dolby、DTS、DreamWorks、JVC studio Japan、Metropolis、
そしてSony Mastering 等のプロフェッショナル環境をも支えています。
また、プロ製品からコンシューマー製品にいたるまで、スピーカー1本1本を丹念に英国内にて手作業で製造し、
厳密な品質チェックとリスニングテストを通過した製品だけを出荷しています。

スタジオモニター P.270

ニアフィールドモニターシステム P.272



Studio Monitor Series

究極のプロ用スタジオモニター・スピーカーシステム。

スタジオモニター・スピーカーシステム

BB5-A-BA

ペア オープンプライス

アクティブ

受注発注

世界中で高い評価を受けている
PMCモニタースピーカーのフラグシップモデル。

■ PMCの全ラインナップ内で最も長いATLを内蔵

4mの長大なATLを採用しており、超低域のサウンドも伸びやかに再現します。
(※ATLについてはP.272参照)

■ 3-Way構成による極めて広範な周波数帯域を実現

- ・長大なATLを採用することで17Hzの低域までを再生可能。(※ATLについてはP.272参照)
- ・中音域のスクーアーは380Hz~3.8kHzの広帯域をカバーし、ソフトドームでありながら立ち上がりの早い、歪みの少ないサウンドを出力します。
- ・ツイーターはトランジェント特性の高いソフトドームを採用。スクーアーと接近させることで、つながりの良いスムーズな高域を実現しています。

■ 内部の設計やエンクロージャーの材質、構造にも極限のこだわり

- ・二重積層したMDF材をエンクロージャーに用い、内部の隔壁構造やキャビネットの接合方法にも独自開発による最新技術を惜しみなく投入。従来のバスレフや密閉タイプのスピーカーとは一線を画する極めてクリアでハイスピードな重低音を実現します。

■ 2台のクロスオーバーと6台のアンプを含めたシステム

- ・クロスオーバーネットワークには24dB/octの急峻なスロープを採用し、ユニット間の干渉を極限まで抑制します。
- ・BB5-A用にアンプを揃え、システムとしてのマッチングがとれるようになっています。



仕様 BB5-A-BA

形式	3-Wayアクティブスピーカー
周波数特性	17Hz~25kHz
入力感度	91dB SPL (1W, 1m)
クロスオーバー周波数	380Hz/3.8kHz
インピーダンス	4Ω
ドライバー構成	低域 380mm コーン 中域 75mm ファブリックソフトドーム 高域 34mm ソフトドーム 磁性流体冷却方式
パワーアンプ出力	LF: 800W MF: 250W HF: 120W
質量	73kg (1本)
寸法 (W×H×D) ※	432×1040×805mm
ATL	4m

※突起物除く、グリル含む

サブウーファー追加モデル

BB5-XBD-A

ペア オープンプライス

受注発注



BB5-A-BA にサブウーファーを追加したモデル。
W432mm×H2080mm×D790mm
パワーアンプ出力
HF250W, MF250W, LF800W, LFX800W

センタースピーカー

BB5-C-A

1本 オープンプライス

受注発注



BB5-A-BA のセンタースピーカー。
W1040mm×H432mm×D790mm

アクティブモニター

PMCのアクティブモニターは、妥協のない設計を施した究極のシステムです。PMCまたはBRYSTON社のパワーアンプとATLを搭載した製品レンジは、ニアフィールドから大規模なモニタリングまでを網羅しています。ベストな状態で妥協しないプロフェッショナルが使用するモニターシステムです。
(※ATLについてはP.272参照)

パッシブモニター

ポストプロダクションや放送局におけるステレオまたはサラウンドでの録音、マスタリングに特化したモニタースピーカーシステムです。



スタジオモニター・スピーカーシステム

MB2-P-SM

ペア オープンプライス

受注発注

「BB5」のノウハウを継承し、コンパクトにした3-Wayパッシブスピーカー。

- スムースかつスピード感のある低域再生を実現する3mのトランスミッションライン。
- BB5と同一のスクーアーを採用。
- BB5と同じコンセプトで設計を行った310mmウーファーを搭載。
- 磁性流体冷却システムを採用した27mmツイーター。
- トライワイヤリング対応バインディングポスト。
- ロンドンのマスタリングスタジオをはじめ、ハリウッドの映画音楽スタジオのサラウンドモニターとして高い評価を獲得し、世界中の著名なスタジオに導入されています。



仕様 MB2-P-SM

形式	3-Wayパッシブスピーカー
周波数特性	20Hz~25kHz
入力感度	91dB SPL (1W, 1m)
クロスオーバー周波数	380Hz/3.8kHz (-24dB/oct)
インピーダンス	4Ω
ドライバー構成	低域 310mm コーン 中域 75mm ファブリックソフトドーム 高域 27mm ソフトドーム 磁性流体冷却方式
入力コネクター	トライワイヤリング対応
推奨アンプ出力	200~800W
質量	53kg (1本)
寸法 (W×H×D) ※	380×870×535mm
ATL	3m

※突起物除く

センタースピーカー

MB2-P-SM-C

1本 オープンプライス

防磁タイプ

受注発注

MB2用センタースピーカー。
フィニッシュ:ブラックアッシュ

スタジオモニター・スピーカーシステム

IB1S

ペア オープンプライス

受注発注

トランスミッションラインとフラットウーファーを採用した3-Wayモニタースピーカー。

- 2.4mのトランスミッションラインと250mmフラットウーファーを採用。スピード感のある低域は、従来のフラットウーファーのイメージを払拭する圧倒的な臨場感を獲得しています。
- ハイエンドモデル「BB5」「MB2」と同様の内部クロスオーバーネットワークを採用。各ユニットの干渉を抑えたシャープな帯域分割を行います。
- スクーアー、ツイーターにはソフトドームタイプを採用。広範な指向性と定位感を両立し、ジャンルを問わず幅広い音楽に威力を発揮します。
- 25mm、18mmのコンピュータ制御のカットによるMDFパネルを採用した堅牢なエンクロージャー。



仕様 IB1S

形式	3-Wayパッシブスピーカー
周波数特性	25Hz~25kHz
入力感度	89dB SPL (1W, 1m)
クロスオーバー周波数	380Hz/3.8kHz
インピーダンス	4Ω
ドライバー構成	低域 250mm フラット型カーボンファイバー 中域 75mm ファブリックソフトドーム 高域 27mm ソフトドーム
入力コネクター	トライワイヤリング対応
推奨アンプ出力	120~500W
質量	36kg (1本)
寸法 (W×H×D) ※	330×740×477mm
ATL	2.4m

※突起物除く、グリル装着時

センタースピーカー

IB1S-M-C

1本 オープンプライス

防磁タイプ

受注発注

IB1S用センタースピーカー。
フィニッシュ:ブラックスプレーフィニッシュ



ニアフィールドモニターシステム

■ アクティブ

2-Wayモニタースピーカーシステム

twotwo.5

ベア オープンプライス

受注発注

twotwo.6

ベア オープンプライス

受注発注

twotwo.8

ベア オープンプライス

受注発注

右から
twotwo.6
twotwo.8
twotwo.5



コンパクトで縦横の設置が自在。
スペースが厳しいプロの現場で活躍。

- 縦横どちらにも設置が可能。状況に応じて置き方を変えられるうえ、ステレオイメージや音色の精度を変えることがないため、設置の自由度が広がります。
- コンパクトなサイズなので、放送中継車や小規模のラジオ放送スタジオなど、最小限のスペースで正確なサウンドが求められるプロフェッショナルの現場に最適。
- どのモデルも核心となる設計や外観は共通しているため、マルチチャンネルのシステムとして組み合わせる場合にも違和感なく設置可能。
- アナログ入力のほか最大192kHzまでのデジタル入力にも対応。高い解像度による正確な音質を可能にしています。
- 背面にDSPコントローラーを搭載。

仕 様	twotwo.5	twotwo.6	twotwo.8
形式	2-Wayアクティブスピーカー		
周波数特性	50Hz~25kHz	40Hz~25kHz	35Hz~25kHz
クロスオーバー周波数	1.8kHz		
パワーアンプ出力	低域	150Wrms	
	高域	50Wrms	
最大音圧	111dB@1m	113dB@1m	115dB@1m
コントローラー	LF Shelf	±4dB@750Hz	
	HF Shelf	±4dB@1kHz	
	LF-Roll-Off	6dB/oct (50/80/120/150/200Hz)	
ドライバー構成	低域	140mm (5.5インチ)	170mm (6.5インチ)
	高域	27mmソフトドーム	200mm (8.0インチ)
入力コネクター	XLR(バランス)、RCA/フォノ(アンバランス)、AES		
入力感度	+4~20dBu 調整可能		
電源	100V、IECコネクター		
消費電力	200W		
寸法(W×H×D)	155×296×295mm	194×406×364mm	250×500×415mm
質量	5.4kg	8.4kg	12.2kg
ATL	1.5m	1.6m	1.9m



背面のDSP画面と
コントローラー

ATL (Advanced Transmission Line) Technology



PMCすべてのスピーカーにATLが採用されています。

- 豊かな低音
- 高効率、低歪み
- 高解像度
- 音量にかかわらず均等な周波数レスポンス

PMCの代名詞とも言うべきエンクロージャー構造技術です。キャビネットの内部空間を吸収素材で覆われたトンネル状にすることで、メインドライバーの後方に発生する低域成分を巧みに統合して出力し、伸びのある低域特性を実現します。

また、この構造はキャビネット内の空気を整流し、その空気圧でドライバーが安定駆動するメリットもあり、歪みや高周波歪みの発生を低減します。

ATLを採用したPMCのスピーカーは、他のスピーカーと同一のドライバーが使用されたとしても低いベースサウンドを再生することが可能です。より伸びやかで厚みのある低域が得られるばかりか、低域に後押しされるように高域の解像度も高まります。

周波数レスポンスはボリュームに関わらず一定を保つことが可能になります。結果、大音量を必要としない精緻なモニタリングができるため、深夜における作業にも最適です。ご自宅で音楽を楽しむ場合、小音量でも満足のゆくリスニングを実現します。